



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月14日

上場会社名 築地魚市場 株式会社
コード番号 8039 URL <https://www.tsukiji-uoichiba.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 康司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 大竹 利夫
半期報告書提出予定日 2024年11月14日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6633-3510

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	29,272	5.8	66		95	521.1	74	244.7
2024年3月期中間期	27,667	0.7	19		15	79.4	21	81.5

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 20百万円 (%) 2024年3月期中間期 55百万円 (77.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	33.09	
2024年3月期中間期	9.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	17,198	6,334	36.8	2,817.11
2024年3月期	17,182	6,416	37.3	2,859.91

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 6,334百万円 2024年3月期 6,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期				35.00	35.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	2.2	350	884.3	350	357.7	250	22.5	111.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	2,253,520 株	2024年3月期	2,253,520 株
期末自己株式数	4,865 株	2024年3月期	9,840 株
期中平均株式数(中間期)	2,245,091 株	2024年3月期中間期	2,238,051 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢や実質賃金に改善が見られ景気は回復傾向を維持しましたが、金利の上昇や為替の変動などが影響し、物価は上昇局面にあり、株価の乱高下や不安定な国際情勢は継続しており、依然として先行き不透明な状況となっております。

当社を取り巻く水産物卸売業界におきましては、外食、観光、インバウンド関連消費は伸長していることにより業務筋への販売は総じて順調でしたが、地球温暖化の影響による大衆魚の漁獲減少や円安による輸入水産物のコストアップにより単価は高値圏で推移しております。また食品全般におきましては、冷凍食品や菓子などの加工食品の値上げも相次ぎ消費マインドは低下、エネルギー価格、原材料費や物流費の高騰など継続傾向にあり、引き続き厳しい商売環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「MF-2026 Move Forward 2026」をスタートさせ「旧来型の荷受会社から、広範な機能を有する販売会社への転換を図る」べく、課題解決に向けた様々な取り組みを実行しております。

当中間連結会計期間の当社グループの経営成績は、各セグメント売上高は順調に推移したことにより売上高は29,272百万円(前年同期売上高27,667百万円)と前年を上回ることができましたが、水産物卸売業においては物流費などのコストを売上の一部転嫁することができず苦戦しており、一方で冷蔵倉庫業が好調に推移したことにより、営業利益は66百万円(前年同期営業損失19百万円)、経常利益は95百万円(前年同期経常利益15百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益74百万円(前年同期親会社株主に帰属する中間純利益21百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は17,198百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。流動資産は7,929百万円となり、193百万円増加いたしました。これは主に棚卸資産が増加したことによるものです。固定資産は9,269百万円となり、177百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券の時価評価にともなう含み益の減少によるものです。当中間連結会計期間末の負債は10,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加いたしました。流動負債は6,576百万円となり、348百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加したことによるものです。固定負債は4,288百万円となり、250百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

当中間連結会計期間末の純資産は6,334百万円となり、前連結会計年度末に比べ、82百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の37.3%から36.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2024年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,387	696
売掛金	3,802	3,935
商品及び製品	1,681	2,430
原材料及び貯蔵品	140	98
その他	746	790
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	7,736	7,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,299	4,274
その他(純額)	2,239	2,247
有形固定資産合計	6,539	6,521
無形固定資産	274	263
投資その他の資産		
投資有価証券	2,188	2,039
その他	486	495
貸倒引当金	△42	△51
投資その他の資産合計	2,632	2,484
固定資産合計	9,446	9,269
資産合計	17,182	17,198
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,879	3,051
短期借入金	1,439	2,739
未払法人税等	54	39
賞与引当金	72	72
その他	781	672
流動負債合計	6,227	6,576
固定負債		
長期借入金	3,020	2,800
繰延税金負債	249	206
退職給付に係る負債	489	497
資産除去債務	292	294
その他	485	489
固定負債合計	4,538	4,288
負債合計	10,765	10,864

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,045	2,045
資本剰余金	1,002	1,009
利益剰余金	2,775	2,771
自己株式	△20	△10
株主資本合計	5,804	5,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	592	497
繰延ヘッジ損益	-	-
土地再評価差額金	19	19
その他の包括利益累計額合計	612	517
純資産合計	6,416	6,334
負債純資産合計	17,182	17,198

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	27,667	29,272
売上原価	25,880	27,270
売上総利益	1,786	2,002
販売費及び一般管理費	1,806	1,935
営業利益又は営業損失(△)	△19	66
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	40	45
その他	8	6
営業外収益合計	49	52
営業外費用		
支払利息	12	13
関係会社貸倒引当金繰入額	-	9
その他	1	1
営業外費用合計	14	23
経常利益	15	95
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4
特別利益合計	-	4
税金等調整前中間純利益	15	100
法人税等	△6	25
中間純利益	21	74
親会社株主に帰属する中間純利益	21	74

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	21	74
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△94
繰延ヘッジ損益	-	-
その他の包括利益合計	34	△94
中間包括利益	55	△20
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	55	△20
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合計	調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	26,930	658	78	27,667	-	27,667
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	109	-	109	△109	-
計	26,930	767	78	27,776	△109	27,667
セグメント利益又は損失(△)	△193	134	40	△19	-	△19

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合計	調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	28,501	691	79	29,272	-	29,272
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	139	-	139	△139	-
計	28,501	831	79	29,412	△139	29,272
セグメント利益又は損失(△)	△172	196	42	66	-	66

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。